

第二回

支那年鑑

大正六年三月十八日印刷
大正六年三月廿一日發行

定價金 五圓

著者兼
行者

東京市赤坂區溜池町二番地
東亞同文會調查編纂部

右代表者 山 內 崑

印刷者

東京市麴町區紀尾井町三番地
金 澤 求 也

印刷所

東京市麴町區紀尾井町三番地
元 眞 社



發行所

東京市赤坂區溜池町二番地
東亞同文會調查編纂部

電話新橋 二二二七番
二二五五番
振替口座東京九七三〇番

序

曩ニ第一回支那年鑑ヲ公ニセシヨリ茲ニ數年、其
間續刊ノ意頻ナリシモ、民國創業更始ノ際、萬機錯
綜、隆替常ナラズ、就中法令官規ハ朝令暮改モ嘗ナ
ラザルモノアリ、從テ旁搜修訂ノ煩、意量ノ外ニ出
デ幾タビカ稿ヲ脱シ、而カモ成本ヲ俟タズシテ早
ク已ニ内容修補ノ已ムナキニ至リ、遂ニ之ヲ中止
スルコトトセリ

其後昨春民國ノ庶政漸ク將サニ緒ニ就カントス
ルニ方リテ更ニ第二回支那年鑑ノ稿ヲ起シタル

モ、偶袁氏帝制紛擾ニ次ギ、其物故ノ大變轉ニ會シ
三タビ成稿ヲ改メザルヲ得ザルニ至レリ
爾來本部職員ヲ督勵、夜ヲ以テ日ニ繼グノ努力ヲ
以テシテ、豫定ノ期ニ遅ル、コト數月ニシテ纔ニ
之レガ完成ヲ見ルヲ得タリ

由來支那ニ於ケル統計材料ハ、之ヲ蒐メ之ヲ輯メ
テ、日ニ就リ月ニ將ムモ、尙ホ隔靴搔痒ノ感ナキ能
ハズ、況ンヤ人員時日ニ限リアリ、實查精覈ニ遑ア
ラサルニ於テオヤ、唯ダ行文簡易ニ從ヒ、排列端委
ヲ主トシ見ル者ヲシテ徒ラニ耳目ヲ勞シテ、厭倦

ノ氣ヲ生ゼシメザルニ力メ、以テ披閱ニ便セリ、冀
クハ微衷ノ存スルトコロヲ諒シ、漫ニ杜撰ヲ咎ム
ル勿ランコトヲ、茲ニ第二回支那年鑑成ルニ當リ
其成稿ノ由來ト將來重訂ノ希望ヲ述テ、卷頭ニ錄
スト爾云

大正六年三月

東亞同文會
調查編纂部主任

山 内 崑

凡例

一、英國ニ有名ナル政治家年鑑アリ、其他各國孰レモ「アルマナック」「イーヤ、ブツク」等ノ編訂アリ、以テ鳥瞰觀、綜合觀ヲナスニ便セリ、而シテ支那ニ關シテモ近年「チヤイナ、イーヤ、ブツク」ノ公ニセラレタルモノアリト雖モ、其内容ニ至リテハ未ダ盡サバルモノアリ、繁簡其宜ヲ得ザルモノアリ、之レヲ以テ足レリトナスベカラザルナリ

一、弊部曩ニ明治四十五年第一回支那年鑑ヲ公ニシタリシニ、幸ニ大ニ世ニ行ハレタリ、爾來其續刊ニ意アリシモ民國ノコト定ラザルモノアルヲ以テ暫クコレヲ中絶シ、今回漸ク第二回支那年鑑成ヲ告グルニ至レリ

一、本書ノ内容ニ至リテハ盡サバルモノ多ク、此一書ニヨリテ支那各般ノ事物ノ綜合觀ヲ盡サシムル能ハザリシハ、頗ル遺憾トスル所ナリト雖モ、之レヲ從來ノ著作ニ比スレバ尙一日ノ長アルベキヲ信ズ

一、材料ノ取捨ニツイテハ繁簡其體ヲ得ザルモノナシトセズ、又材料ノ缺如センガ爲ニ第一回支那年鑑ニアリタル項目中、本編ニ全クコレヲ省略セ

ルモノアリ、司法教育ノ如キ則チコレニシテ又第一回支那年鑑ノ内容ト重複スベキモノハ努メテ之レヲ省略シタリ、貨幣度量衡等ヲ省ケルハ之レガ爲ナリ

一、支那地名ノ簡略ナル説明及羅馬字讀方ハ之レヲ本編ノ終ニ加ヘント欲シ稿殆ンド成リシモ印刷成本ヲ急ギシ爲ニ之レヲ省略セリ、重版ノ場合ニ増補スベク、尙其場合ニハ更ニ多少ノ修訂ヲ加フベシ

一、本書ノ卷尾ニ詳細ナル索引ヲ附セント欲シタルモ、コレ亦遂ニ其希望ヲ達スル能ハズシテ止メリ、重版ノ機會ニハ必ズコレヲ附添スベシ

一、本書中ニ用ヒタル支那度量衡貨幣ト日本ノ夫トノ對照表、及年號對照表ハ別表トシテ、本書中ニ挿入シタリ、之レ一ニ看官ノ便宜ヲ旨トシタルナリ

東亞同文會調查編纂部

支店出張所



支店出張所

内地	其他	支那
神戸	新嘉坡	厦門 上海
大阪	スラバヤ	汕頭 九江
東京	倫敦	香港 漢口
		福州 廣東

株式會社

臺灣銀行

(北臺)

臺灣	基隆
打狗	臺中
宜蘭	嘉義
淡水	臺南
新竹	
澎湖島	
花蓮港	
臺東	
阿緱	

東京市日本橋區南茅場町六番地

南滿洲太興合名會社

電話浪花三〇五番

社長 飯田延太郎
監督 濱名寬祐

奉天小西邊門外浩然里

南滿洲太興
合名會社

奉天支社

電話三〇五番

吉林省間島天寶山

南滿洲太興
合名會社

間島鑛山部

各樣妝飾品 製造出售

大阪市南區順慶町二丁目
八百屋町北入

松本號

電話南二三〇四番

附設金屬工廠

同西區南堀江下通一丁目

輸出部

電話西二九一三番

以應各樣金屬製品需用

本店自造各種草帽材料並各樣製草帽機器及該機器應用附屬各件均備

日本大阪市高麗橋東詰東入

帽子
原料
附屬品商



江指豐治郎商店

電話東一長一六六三番
振替口座大阪二二五番

發售貨品目錄

- 夏冬帽子及附屬零件 一式
- 製帽機器及附屬零件 一式
- 嶄新改良自行針製草帽用成衣服用 一式
- 各色精良絲車 一式
- 各色絲帶 一式

倘蒙賜顧請示玉音即為奉上海決不有悞主顧
特此佈告

日
支
連
絡

連
絡
驛
所

鐵道院線

東京、横濱、名古屋、京都、大阪、三ノ宮、神戸、下關、門司、長崎。
東京、横濱、名古屋、京都、大阪各市内營業所。

支那國有鐵道線

京奉線 北京、天津、山海關、新民府。
京綏線 張家口、南口。
京漢線 漢口、石家莊、鄭州。
津浦線 浦口、濟南府。
滬寧線 上海、南京。

連 絡 徑 路

本連絡ハ釜山、安東、奉天經路ニ由ルモノニシテ日本發驛ヨリ下關又ハ門司マデハ鐵道院線ノ列車ニ由リ下關釜山間ハ鐵道院經營ノ連絡汽船ニ由リテ釜山棧橋ニ上陸、同驛ヨリ朝鮮鐵道線ノ列車ニ乘車シ朝鮮ヲ縱貫シテ安東ニ達ス。鮮滿直通急行列車以外ノ列車ニ由ラル、旅客ハ何レモ此驛ニ於テ南滿洲鐵道線接續列車ニ乘繼ギ奉天ニ到ル。奉天ハ支那京奉線ノ終端ニシテ同線ノ接續列車ハ南滿洲線奉天驛ニ發着スルヲ以テ同一驛ニ於テ乘繼グコトヲ得ベシ。

京奉線内ニ於テハ奉天北京間毎日直通列車運轉ス。又津浦線方面行ハ天津ニテ同線列車ニ乗換ヘ、滬寧線方面行ハ其終端浦口ヨリ連絡船ニト南京江邊又ハ下關ニ上陸スベシ、同江邊驛ハ南京ヲ距ルコト一哩、主要ノ急行列車ニ限り此處ニ發着ス。京綏線方面行ハ北京正陽門驛ヨリ環城支線ニ由リ西直門驛ニ至リ同線列車ニ乘繼フ要ス。京漢線方面ニ到ルニハ北京及豐臺經由ノ二途アリ北京ヲ經由スル場合ハ京奉線驛ト京漢線發驛間乘繼フ爲ニ要スレ費用ハ旅客ノ自辨トス、豐臺ヲ經由スル場合ハ豐臺ニテ乗換ヘ更ニ長辛店ニテ本線列車ニ乘繼フ要ス。

本連絡運輸ノ概要

日支周遊券

本週遊券ハ日本支那間觀光旅客ノ便宜ヲ圖リ鐵道三割引汽船二割引五分引ノ低減賃金ヲ以テ日本支那間海陸ノ兩徑路即チ舊鮮經由ノ鐵道連絡徑路ト漢口上海間及日本各港上海間ノ汽船航路トヲ接續セシメタル環狀周遊徑路ニ對シ發賣スルモノニシテ其大要左ノ如シ

發賣驛所

鐵道院線

日支連絡驛所並ニ釜山港（但シ神戸、下

鐵道院線

支那國有鐵道線

日支連絡驛所並ニ釜山港（但し神戶、下
關、門司、長崎發ニシテ同地ヨリ直チニ上
海方面ニ向ケ日本郵船航路ニ由ル徑路ニ
對シテハ該港所在同社取扱店ニテ發賣シ
院線連絡驛ニ於テハ取扱ハズ）
日支連絡驛（但し京漢線石家莊及鄭州ヲ
除ク又上海及漢口發ニシテ同地ヨリ直チ
ニ日清汽船又ハ日本郵船航路ニ由ル徑路
ニ對シテハ該港所在各社取扱店ニテ發賣
シ鐵道連絡驛ニ於テハ取扱ハズ）

本連絡ヲ利用セラル、旅客ハ發驛又ハ市内營業所ニ於テ
 連絡乗車券冊子ヲ購求セラルベシ。
 本連絡乗車券冊子ハ一等、二等、三等ノ三種トス。
 本連絡乗車券冊子代金ニハ急行料金及寢臺料金ヲ含マザ
 ルヲ以テ急行列車ニ乗車シ又ハ寢臺ヲ使用セラル、トキハ
 別ニ所要ノ料金ヲ支拂ハルベシ。
 本連絡旅客ノ爲メ特ニ院線京奉線間ノ旅行ニ對シテハ急
 行列車寢臺豫約ノ便アリ。
 本連絡乗車券冊子ノ有効期間ハ京奉及京綏線發着ノ分ハ
 發行ノ日共三十日間、其他ハ發行ノ日共四十日間トス。
 本連絡ニ於テハ四歲未滿ノ小兒ハ無賃、四歲以上十二歲
 未滿ノ小兒ハ小兒賃金ヲ支拂ハルベシ。
 本連絡手荷物ノ無賃運送重量ハ左ノ通りトス。但半賃ヲ
 支拂ヒタル小兒ハ其半量トス。
 一等 百六十封度 二等 百二十封度 三等 八十封度

支那國有鐵道線發ノ場合
上野日光間、錦山田間、永登浦仁川間、奉天大連間

○手荷物無賃制限重量
日支連絡所定ノ通
一等三百五十封度又
二等二百五十封度又
三等一百五十封度又
官輸一百二十立方尺

○汽船航路
引換證發賣驛所ニ依リテハ本週遊券ノ代リニ周遊徑路ノ各區間ニ對スル引換證ヲ發行ス此場合ニハ引換證各片ニ記入シタル發驛港ニ於テ之ヲ當該區間ノ割引乗車船券ト引換フルコトヲ要ス

○船室豫約
本券所持ノ旅客ハ豫メ汽船會社取扱店ニ於テ船室ヲ約束セラルハニアラザレバ乗船地ニ到着後相當船室無キ場合ニハ他ノ船室ニ乗換ヘ又ハ次便船迄待合セラレシキトアルベシ

○日支巡遊券
本巡遊券ハ日本ヨリ西ニ向ヒ又ハ支那ヨリ東ニ向ヒ或ハ日本及支那ノ各港ヲ通過シ橫濱上海間ヲ包含セル乗船券所持ノ一等船客ニシテ陸路鐵道ニ由リ日本及支那ヲ見物セントスル場合汽船會社取扱店ニテ發賣スルモノニシテ其大要左ノ如シ
○發賣汽船會社 日本郵船會社 東洋汽船會社 加奈陀太平洋汽船會社 洋行會社 太平洋郵船會社

○巡遊區間及徑路
橫濱ニ上陸シタル場合ニハ先ヅ東京ニ至リ東海道山陽沿線ノ各地(名古屋、京都、大阪、關西、山田、山陽、及奈良、ノ經山スルヲ得)ヲ經テ(宮島、嚴島、町、迄渡船往復ヲ含ム)下關ヨリ連絡船ニテ釜山ニ上陸京城、安東、奉天、天津ヲ經テ北京ニ達シ引返シテ天津ヨリ津浦線ニテ濟南府經由浦口ニ至リ南京ヨリ滬寧線ニ由リ上海著同地ヨリ再ビ乗船スルモノトス、上海發ノ場合ハ此反路ニ由ル

○通用期間
發行ノ日共三ヶ月間トシ此期間内ハ途中主要都市並ニ名勝地ニ下車スルモ別ニ料金ヲ支拂フコト無ク前途已ビ急行列車ニ乘繼ギ得ル特典アリ

○賃金
日本郵船會社ノ分金壹百圓
其他ノ汽船會社ノ分金壹百貳拾圓
(此賃金ハ約二乃至三割引ニ當リ急行料金ヲ含ムト雖寢藥料金及特別座席料金ハ別ニ支拂ハ要ス)



H. IIRAMATSU & CO.,

5-chome Fushimimachi, Higashi-Ku, Osaka Japan.

Tel. Nos. 835 (L.D.) Honkyoku)
833 846

Exporter and Importer
of
Woolen Yarn
in several kinds.

各種絨線自造批發



平松兵二商店

電話本局

長

八三五番
八三六番
八四六番

輸出工場東武壹五六番

TRADE



MARK

TOKI & CO.

東京市日本橋區小網町三ノ九

本店

土岐商會

電話浪花

五六一六
三六二一

支那上海愛多路(舊洋涇濱)四七

支店

土岐洋行

電話四二四二

玩具
文具
雜貨
輸出
入業

麴町區八重洲町

古河合名會社

日本橋區住吉町

上毛モスリン株式會社

■完全ナル絶縁材■

熱。電氣。濕氣。音響。

■專賣特許■
壓 搾 コ ル ク
冷 藏 裝 置 材 料

日本コルク株式會社

本店

東京市本所柳原町
一丁目二十一番地
電話本所八三一番

支店

廣島市上柳町
五十五番地
電話四一四七四番

輕量且ツ彈性ナル力

故ニ左記ノ製作ニ適ス

救命具。漁撈用浮子。家具。
文房具。履物。敷物。玩具。

東亞興業株式會社

輸出入貿易商

横濱市南仲通り三丁目



増田屋 安部幸兵衛本店

電話 特長
一八六
〇〇六
番番

輸出入一般貿易商

横濱市本町四丁目
増田合名會社
 電話 局長 三六六〇 三七六〇

支店、出張所 東京、神戸、大阪、下關、倫敦、上海、大連、天津、シドニー、漢口、釜山、カルカッタ

横濱市本町四丁目

 **増田増藏本店**

砂糖 小麥粉 雜穀 肥料

貿易商

支店、出張所 東京、大阪、神戸、臺灣、沖縄

電話 局長 二八二六 一六六〇

總裁 伯爵土方久元
 會長 男爵武井守正
 副會長 平山成信

 贊同出品 

東京府、大阪府、京都府、滋賀縣、三重縣、愛知縣、靜岡縣、神奈川縣、埼玉縣、臺灣、朝鮮、關東州、樺太

東京實都五年奉祝博覽會

會場 會期

上野不忍池畔
 三月十五日より
 五月卅一日まで

四月一日より

夜間開場

(雨天を除く)

精良綿紗綿布製造販賣

商牌

日鳥牌(綿紗用) 双美人牌

熊牌、鶴牌、電話牌(綿布用)

精紡機鍾數 五萬九千九百四十四鍾

撚系機鍾數 六千六百鍾

織機臺數 八百五十六臺



和歌山紡織株式會社

大日本和歌山市傳法橋南町

附設工廠四處

台灣製糖株式會社